

2027 年度 英語資格入試

国語・算数の出題方針とサンプル問題・解答

「英語を入口に、学ぶ楽しさを広げる」

2027 年度より、獨協埼玉中学校では「英語資格入試」を新設します。英語を学ぶことに興味を持ち、英語資格の取得に取り組んできた皆さんに、本校でさらに幅広く学んでほしいと考えております。この入試では、英語資格を一つの入口としながら、国語と算数の試験を通して、これからの中学校での学習につながる基礎的な学力と、文章や条件を読み取り、自分で考える力を確認します。

◎国語の出題方針

大問が2題で、1題は文学的文章、もう1題は説明的文章です。詩歌を単独で出題することはありません。また、漢字や語句の問題が単独で出題されることはありませんが、文章題の中で、文章に関わる漢字や語句について出題されることがあります。

国語の入試では、以下の力が身につけているかを確認します。

- ・筆者の考えや登場人物の心の動きをつかむ力
- ・文章の構造や展開を読みとる力
- ・漢字や語句に関する理解

◎実際の入試問題のイメージを持てただけよう、サンプル問題を紹介します。

◆サンプル問題（国語）

先生から教わったことの中で、覚えているのは、「黒は使うな」ということ。「黒という色はすべてをのみこんでしまうから」という、子ども心にわかったようなわからないような説明をうのみにして、黒は使わない数年間であります。

問。傍線部「うのみにして」の本文中の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | |
|----------------|----------------|
| ア. 理解できたと勘違いして | イ. 細かいことを保留にして |
| ウ. あきらめずに実行して | エ. 十分に考えず受け入れて |

◆サンプル問題の解答（国語）

正解は、エ。「十分に考えず受け入れて」です。

「うのみにする」の基本的な意味は「人の言葉や情報を、よく考えずに信じること」です。また、本文中では「わかったようなわからないような説明」を「うのみに」したと書かれています。そのため、「きちんとわかっていない」けれど「信じた」という要素を含んだ選択肢が答えとなります。

※掲載しているサンプル問題は、実際の入試問題のすべてを示すものではありません。

◎算数の出題方針

大問が3題で、そのうち2題は結果のみを答える問題です。もう1題は結果のみでなく考え方や途中式が必要となります。内容は様々な分野にわたる問題を出題します。

以上のことから、基本的な計算力はもちろんのこと、それを土台として、問題文や図などから必要な情報を読み取り、筋道を立てて考える力を大切にしてください。また、単に答えを求めるだけでなく、「なぜそうなるのか」「どのように考えればよいのか」を大切にしたい問題も出題します。入試では、次のような力を確認します。

- 基本的な計算を正確に行う力
- 問題文から必要な情報や条件を読み取る力
- 結果だけでなく、途中式や考え方を書く力
- 筋道を立てて考え、問題を解決する力

算数の問題に取り組むときには、答えだけでなく、「どのように考えたのか」を大切にしてください。

◎実際の入試問題のイメージを持っていただけるよう、サンプル問題を紹介します。

◆サンプル問題（算数）



◆サンプル問題の解答（算数）



※掲載しているサンプル問題は、実際の入試問題のすべてを示すものではありません。

受験生のみなさんへ

この入試では、特別な問題を解くための知識だけを求めているわけではありません。小学校で学んだ国語と算数の基礎を大切にしながら、「文章を丁寧に読む」、「条件を整理する」、「自分で考えてみる」という習慣を身につけてください。

英語を学ぶ中で身につけた「もっと知りたい」「もっと学びたい」という気持ちを、国語や算数、そして中学校での様々な学びへと広げていきましょう。皆さんと獨協埼玉で学べることを楽しみにしています。